

# デジタルドキュメント(1)

高久雅生

2013年4月18日(木)3・4時限

# 本日のお品書き

- 授業内容の解説
  - 概要： 何をやるか？
  - 予定： いつやるか？
  - 目標： 何を目指すか？ 何を目指さないか？
  - 評価
- デジタルドキュメントとは？
  - ジャンル、種類、用途
  - 流通、形態

# 自己紹介

- 高久 雅生(たかくまさお)
- 職歴:
  - 2004-2008: 国立情報学研究所
  - 2008-2013: 物質・材料研究機構
  - 2013-: 筑波大学図書館情報メディア研究系
- 専門・関心:
  - 情報検索
  - 電子図書館
  - 学術コミュニケーション
- 連絡先:
  - 研究室: 7D208
  - メール: masao@slis.tsukuba.ac.jp
  - Twitter: @tmasao

(授業概要をシラバスから)

デジタルドキュメントは、ハイパーテキスト、ウェブを介した発信、多人数による共同編集等の概念を含む、新しい情報メディアである。本講義では、学術研究分野や電子出版、電子書籍におけるデジタルドキュメントの作成と管理、発信の実例を取り上げ、その機能がどのように実現されるかを解説する。

# つまり？（要約）

- ドキュメント（文書）のうち、デジタルの特性を持つモノを生成、管理、利用することの諸々の側面を扱います。
  - 例：
    - 電子書籍
    - ウェブ
    - メール
    - etc.
- デジタルでない紙の文書の特性は扱いません。
- ドキュメントでないモノは扱いません。

(授業の概要をもう一度...)

デジタルドキュメントは、ハイパーテキスト、ウェブを介した発信、多人数による共同編集等の概念を含む、新しい情報メディアである。本講義では、学術研究分野や電子出版、電子書籍におけるデジタルドキュメントの作成と管理、発信の実例を取り上げ、その機能がどのように実現されるかを解説する。

# 教育目標

- デジタルドキュメントの範囲と位置づけを理解する。
- 学術研究分野におけるデジタルドキュメントの発信と利用動向を理解する。
- 電子書籍及び電子出版に関わるデジタルドキュメントの動向と技術を理解する。
- ウェブにおけるデジタルドキュメントの位置づけを理解する。

# 教育目標(1)

- デジタルドキュメントの範囲と位置づけを理解する。
- デジタルドキュメントの
  - 定義
  - どのような種類があるか
  - 事例
  - 評価軸
  - 処理方法について、述べることができる。



# 教育目標(2)

- 学術研究分野におけるデジタルドキュメントの発信と利用動向を理解する。
- 学術分野で使われているデジタルドキュメントの事例や、その種類を挙げて、それぞれの動向について説明できる。
  - Eジャーナル
  - Eブック
  - 学術論文や専門書の表現と構造
  - 学術情報の粒度

# 教育目標(3)

- 電子書籍及び電子出版に関わるデジタルドキュメントの動向と技術を理解する。
- 電子書籍の事例、種類、動向について、及び電子出版と関連付けて説明でき、使われている技術や標準といった内容を説明できる。
  - 電子辞書
  - EPUB, XMDF, 国際標準

# 教育目標(4)

- ウェブにおけるデジタルドキュメントの位置づけを理解する。
- ハイパーテキストとしてのウェブ文書、ウェブページ概念と、その技術、利用のあり方について理解する。
  - ウェブで利用される文書の例
  - HTML文書とその構造
  - ウェブページの構築
  - ウェブページの利用

# 授業予定

- 4/18
  - デジタルドキュメントの範囲と位置づけを理解する。
- 4/25, 5/2
  - 学術研究分野におけるデジタルドキュメントの発信と利用動向を理解する。
- 5/9, 5/16, 5/23
  - 電子書籍及び電子出版に関わるデジタルドキュメントの動向と技術を理解する。
- 5/30, 6/6, 6/13, 6/20
  - ウェブにおけるデジタルドキュメントの位置づけを理解する。

# 授業評価

- 数回のレポート課題とその採点により評価する
  - 進捗度合いを見ながら、課題を出す予定です。
  - (というか、今日も出します)
  - レポート課題は必ず提出すること。
- 試験は行わない。

# 関連する授業科目

- GE10301「情報基礎」(鈴木先生)
- GE60201「テクニカルコミュニケーション」(三波先生)
- GE60801「学術メディア論」(松林先生)
- GE70401「デジタルライブラリ」(宇陀先生)
- GE80301「学術情報基盤論」(逸村先生)

# 連絡先(コンタクト)

- この授業科目について疑問・質問・意見などあるときは、オフィスアワーに研究室に来てください。
  - オフィスアワー: 木曜日5時限(この授業時間の直後)
  - 7D 208研究室
- または、メールにてアポイントメントを取ること
  - masao@slis.tsukuba.ac.jp

# 授業資料・お知らせ

- <http://masao.jpn.org/lecture/2013/digital-document/>
- 上記サイトにおいて、授業資料は随時公開、提供します。(URLは変更する可能性もあり)
- 授業の課題提出等に伴うお知らせもこちらに掲載します。



デジタルドキュメントとは？

# （最初にお断り）

この授業科目の名称は  
「デジタルドキュメント」  
ですが、私は、  
「デジタルドキュメント」  
または「Digital document (DD)」  
という表記を使って話すことが多いです。  
#いずれも同じ概念を指しています。

# デジタルドキュメントとは？

- 広義には、デジタルメディア上で配信・流通・利用されるドキュメントを指す。
  - (この授業では、おおむねこの定義に従います)
  - ※概念そのものが新しく、何か定説があるわけではない
- つまり、「ドキュメント(文書)」がデジタルメディア上に展開されたモノを指す。
  - 1)「ドキュメント(文書)」の特性
  - 2)「デジタルメディア」の特性
  - 両方を満たすもの。
- 狭義には、産業用のデジタルメディアにおいて作成、提供される製品説明書、仕様書などを指す。
  - 説明書、マニュアル

ドキュメント

デジタルメディア

# ドキュメントとデジタルドキュメント

## ドキュメント【document】

- 1) 資料的な文書。記録。
- 2) 記録映画。記録文学。
- 3) コンピューターで、プログラム開発の際に作る仕様書や使用説明書。

(小学館・大辞泉より)

# ドキュメントとデジタルドキュメント

- document

- ▶ noun a piece of written, printed, or electronic matter that provides information or evidence or that serves as an official record.

- ▶ verb [with obj.] record (something) in written, photographic, or other form.

(Oxford English Dictionary)

# ドキュメントとデジタルドキュメント

- document ← documentum (ラテン語)
  - doc- (教える) + -mentum (方法; 結果)
  - メディアや技術を問わず、教授する/伝える手段
- document → (派生語) documentary
  - 記録、記録映画、ドキュメンタリー番組

# (脱線) documentの語源

- doc-, doct- (教える)
  - discipline (規律, 訓練法, 分野領域)
  - doctor (博士)
  - doctrine (教義)
  - documentary (記録映画)
  - education 教育; ← ex- + doctus



# デジタルドキュメントとは？

- デジタルメディア上でドキュメントを提供している。
- コンピュータ上で; ネットワークを通じて
- パッケージ型, ネットワーク型
- (電子文書; E-document)
- ウェブ
  - Twitter; YouTube; ...

# デジタルドキュメントの周縁

- ドキュメントとデータの違い？
  - データ: 構造化されたレコード。
    - 例: 電話番号帳、人事記録。
  - ドキュメント: 記録されたコンテンツ。人が読んで理解できるもの。
    - 例: 説明書、マニュアル、図面、楽譜。
  - cf. Wikipedia vs Dbpedia
  - cf. データ指向XML vs ドキュメント指向XML

# デジタルドキュメントに対する視点

- ドキュメントのジャンル
  - ビジネス・用務：業務文書、行政文書
  - 調査研究：書籍、論文、特許
  - 教育：教材
  - 趣味：文芸その他
- ドキュメントの流通
  - 出版・刊行
  - Web
  - インハウス (in-house; 組織内流通)

# 第1回レポート課題

- デジタルドキュメントとはどのようなものか、具体例を挙げて説明してください。
- その際、文献(書籍または論文等)を一つ以上参考文献としてあげること。
  - A4用紙1ページにまとめること(書式自由)
  - 課題番号(第1回レポート課題), 提出日, 学籍番号, 所属, 氏名を提出用紙の一番上に必ず記入すること
  - 次回の授業時間の最初に提出を求めます。

# 本日のまとめ

- ドキュメント(文書)とは？
- デジタルドキュメントとは？
  
- 次回の予定
  - 今日の続き
  - 学術分野を対象としたデジタルドキュメントの事例について解説
    - Eジャーナル (E-journal)
    - Eブック (E-book)